

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	自立支援、重度化防止のための個別事例の検討及びケアマネジメントの資の向上
------	--------------------------------------

現状と課題

- ・本市の要介護認定率は国や県平均値を下回っているが、今後、要介護認定リスクの高まる後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回ることが予測されている。
- ・現在の要介護認定者の要介護度区分を県内 30 万人以上市と比較すると、中重度者の割合が高くなっていることから、介護状態になることの予防と併せ、自立支援、重度化防止への対策が課題となっている。
- ・中重度者対策のためにも、ケアマネジャーに対する自立支援、重度化防止に向けたケアプラン作成の啓発が必要である。

第 7 期における具体的な取組

- ・自立支援型地域ケア会議における個別事例の検討を通じて、ケアマネジャーに自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント作成を促す。
- ・自立支援型地域ケア会議や介護給付適正化事業のケアプラン点検等により、ケアマネジャーの資質向上を図る。
- ・自立支援、重度化防止に向けたケアマネジメントの実施に係るマニュアルの作成と周知

目標（事業内容、指標等）

成果指標		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
自立支援型地域ケア会議の開催（回／年）	目標	9	9	12	12
	実績	9	9		

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 自立支援型地域ケア会議の開催数を計上
 - ・ 自立支援型地域ケア会議の参加者（事業者）数を計上

年度	平成 30 年度
----	----------

後期（実績評価）

- 自立支援型地域ケア会議
 - ・ 自立支援型地域ケア会議を 9 回開催 → 9 地域包括支援センターを 3 圏域に分け、3 圏域ごとに 3 回開催。
 ※平成 30 年度から本格実施（平成 29 年度までは試行実施）。
- 自立支援・重度化防止に向けたケアプラン作成の啓発
 - ・ 平成 30 年 8 月に「ケアマネジメント実施の要点」としてマニュアルを作成。

自己評価結果

- 自立支援型地域ケア会議の開催【◎】
 - 【参考】H30 目標：9 回 H30 実績：9 回
 - 平成 30 年 6 月から平成 31 年 2 月まで毎月第 3 金曜日に実施。
 ※自立支援型地域ケア会議 参加事業所数
 - 平成 29 年度 217 事業所
 - 平成 30 年度 139 事業所
- 自立支援・重度化防止に向けたケアプラン作成の啓発
 - 市ホームページに「ケアマネジメント実施の要点」を掲載。

課題と対応策

- 【課題】
 - ・ 自立支援型地域ケア会議の開催数については目標どおり開催することができたが、試行期間であった平成 29 年度よりも会議への参加事業所が減ってしまった。自立支援・重度化防止の視点を広めるためにも参加事業所を増やしていく必要がある。
- 【対応策】
 - ・ 会議の目的や自立支援・重度化防止の視点を各事業所へメール配信等で周知する。
 - ・ 会議に参加できなかった事業所のために、「在宅医療・介護事業者情報検索システム」へ会議の結果を掲載する。